

令和7年度第1回岡山県立倉敷まきび支援学校学校運営協議会 実施要項

1 目 的

学校の抱える諸問題の解決や児童生徒の望ましい成長をより一層支援するため、学校と地域が学校運営の目標/ビジョンを共有し、ともに力を合わせて学校運営に取り組む。

2 日 時

令和7年5月27日(火) 9時30分～11時30分

3 場 所

岡山県立倉敷まきび支援学校 大会議室

4 構成委員

〈学校運営協議会委員〉

守屋 弘志 (真備船穂商工会会長 箭田 SS(有)守屋石油 社長)・・・会長
中根 征也 (くらしき作陽大学子ども教育学科 教授)
薬師寺 真 (岡山県倉敷児童相談所 所長)
松本 康美 (ハローワーク総社 所長)
夏井 将行 (ももぞの学園施設長)
川崎 陽平 (真備地域生活支援センター 所長)
門野 辰彦 (真備船穂商工会青年部長 田村モーターサービス代表)
上田 啓二郎 (箭田地区まちづくり推進協議会)→土屋 瞳
藤原 能成 (倉敷市立箭田小学校長)
桑原 正 (倉敷市立真備中学校長)
百本 恵子 (箭田地区まちづくり推進協議会、地域コーディネーター)
小倉 千保子 (本校PTA会長)
金島 一顯 (倉敷まきび支援学校長)・・・副会長

〈学校教職員〉

渡辺 琢也 (事務部長)、中園 陽子(副校長)
三竿 香織 (小学部教頭)
滝沢 万紀子(中学部主事・主幹教諭)
大原 広誉 (高等部教頭)
妹尾 美樹 (B 部門教頭)
恩村 雅美 (総括教務・主幹教諭)
長田 恵子・黒川 由美(コーディネーター・指導教諭)
小山 洋司(進路指導主事)、藤井 昂大(進路係)、杉 裕貴紀(生徒指導主事)

5 内 容(進行予定時間) 司会:副校長

9:30～ 開会挨拶(校長)

9:35～ 委員自己紹介

9:40～ 学校運営協議会会長の承認

9:42～ 学校経営に係る基本方針及び重点課題について

「令和7年度学校経営計画」「校内ルール」についての説明(校長)

9:55～ いじめ対策基本方針(大原教頭)

休憩・移動(5分程度)

10:20～ キーワード「地域とともにある学校づくり」についてグループ協議

10:55～ グループ報告(各3分)・意見交換

11:25～ 閉会挨拶(運営協議会会長)

11:30 解散

6 グループ別協議内容(本年度の取組について、日時内容等の具体的な計画をたてる)

写真を掲載させてください。(写真:恩村)

地域とともにある学校づくり

(1)「地域学習」「地域連携」…地域資源を学びに生かすために

(2)地域貢献…子どもたちの活躍が、地域の方の笑顔につながるように

就労:職安所長(松本)、企業(守屋、門野)、高教頭、進路指導主事・係

○地域で働く(自己有用感の高まり 生徒への理解)

地域型実習、地域行事等へのボランティア、校外販売 等

環境・安全:すくらむ班班長(上田)、地域コーディネーター(百本)事務部長

A中部主事、B部門教頭、総括教務、生徒指導主事

○安全・安心な街に(地域住民と一緒に)

あいさつ運動、避難所体験、環境美化のボランティア活動

スポーツ交流 等

福祉:児相所長(薬師寺)、ももぞの学園施設長(夏井)

地域生活支援センター所長(川崎)、PTA会長(小倉)

副校長、小教頭、指導教諭

○特別支援教育のセンター的機能として(子育て支援)

まきびカフェ 等

教育:大学教授(中根)、箭田小校長(藤原)、真備中校長(桑原)、校長

○交流・協同学習

スポーツや芸術活動などを通しての学校間交流 等

7 今後の予定

第2回 令和7年10月14日(火)

第3回 令和8年2月24日(火)

岡山県立倉敷まきび支援学校 第1回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年5月27日(火)
会場：大会議室

開会あいさつ（金島校長）

今年度は児童生徒数370名でのスタートとなった。年々増えているが、保護者や児童生徒が育ちにつながる学びの場を選択している結果だと捉えている。

高等部では6月に現場実習が始まるが、生徒の居住地を含め地域に出ていくようになる。地域に働きかけていき、地域との連携をさらに深めていきたい。

委員自己紹介

学校運営協議会会長の承認

学校運営協議会の会長に守屋様が承認された。

学校経営に係る基本方針及び重点課題について（金島校長）

今年度の重点目標として、①指導のつながりを意識した授業づくり、②防災教育の推進を挙げる。

①児童生徒数、教職員数ともに増加している。特に教職員は毎年30名程度の異動があり、継続した指導に苦慮しているところである。また、学校評価アンケートでも学部間の連携や指導のつながりが課題として明らかになった。今年度は、カリキュラムマネジメントの見える化を図り、指導の連続性を意識した授業づくりができるように研修等を行っていく。

②「防災教育チャレンジプラン」で被災の経験を踏まえて地域と協働しながら防災教育について考え、現行の取り組みの整え直しや地域との情報共有を行っていく。

校内ルールについても、機会を捉えて確認をし、お互いが気を付けられるようにしていく。

いじめ問題対策基本方針（大原教頭）

今年度もいじめ問題については、未然防止、早期発見、迅速な対応を柱に取り組む。いじめ問題対策基本方針はホームページにアップしたり、PTA総会、学校運営協議会で取り上げたりして保護者や地域に広く知らせている。保護者、地域と一緒に取り組んでいきたい。

グループ協議

就労班

事業所参観日について、内容や参観箇所の確認を行った。また、昨年度の実施を受けて改善点も挙げたため、今後検討したい。毎回企業の方からは就労につながるようなアドバイスをいただけるため、大変ありがたく感じている。今回もお互い有意義な場になるよう努めたい。

環境・安全班

今年度の活動内容の確認を行った。地域の方が必要とする時期を見定めることや、児童生徒が達成感をもつことができる活動であることと同時に、カリキュラムに無理が生じない内容を確認した。ボランティアについては、内容に応じた人材を紹介していただけることになった。

福祉班

昨年度のまきびカフェでは、「親なき後のお金の話」をテーマにした回の参加者が大変多く、関心の高さが伺えた。今年度も保護者のニーズに合ったテーマを考えたい。

高等部の生徒こそ福祉とつながることが必要という委員からのアドバイスをいただいた。高等部を対象とした出張相談会も検討したい。

教育班

くらしき作陽大学の学生と本校児童生徒との交流は継続してできている。大学と小学校、中学校、高校が関わっていくとしたらどのような形が考えられるかといったことが話題になった。また、防災についての情報交換も行った。

閉会あいさつ（守屋様）

7月の真備船穂総おどりや10月の日本遺産フェスティバルIN倉敷（箭田大塚古墳を紹介）など、真備で開催される行事や地域のことが学べる機会がある。地域での学習の場として活用していただけたらと思う。